

令和6年度長野県総合防災訓練 実施概要

1 目的

この総合防災訓練は、災害対策基本法、長野県地域防災計画及び小諸市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が相互に連携して各種の防災訓練を総合的に実施し、災害時に即応できる体制を確立するとともに、広く防災意識の普及高揚を図るため、令和6年能登半島地震に関する教訓等を積極的に訓練に取り入れ、地域防災力の向上に資することを目的とする。

2 主催

長野県、小諸市

3 実施日時

令和6年10月20日（日）9:00～13:00

4 場所

- 主会場／小諸市南城公園（長野県小諸市甲字南城 1984 番地）
(浅麓汚泥再生処理センター、小諸発電所第二調整池を含む。)
- その他の訓練会場
小諸市役所、小諸市総合体育館、小諸市武道館、すばーく小諸、浅間南麓こもろ医療センター、小諸高原病院、早稲田大学軽井沢セミナーハウス（軽井沢町）

5 災害想定

秋雨前線の停滞による長雨により、千曲川をはじめとする小諸市内を流れる中小河川が増水し、また地盤が緩み土砂災害の危険性が増大。雨が止んだ令和6年10月20日午前8時05分、小諸市を震源とする最大震度5強の地震が発生。大規模な地滑りにより複数軒の住家が倒壊するとともに、中山間地域の主要幹線が崩れてきた土砂で通行不能となり、複数箇所で集落が孤立、市街地では停電、断水、通信状況の悪化、ガス漏れによる火災が発生

6 訓練のポイント

令和6年能登半島地震を教訓として、ドローンによる情報収集・物資輸送、緊急輸送路等確保のための道路啓開、機能低下したライフラインの復旧（電源車の空中輸送）、救助・救出（救助犬の捜索）及び避難所の環境改善（TKB、ペット同行避難、要配慮者）、キッチンカー（防災食）等に着意した訓練の実施